研究協力のお願い

1. 研究題名“気管支喘息患者における喀痰 AQP3 の役割の解明”

2. 研究目的
呼吸器内科学講座では、2009 年 7 月 13 日から 2014 年 9 月 16 日までの間に京都大学医学部附属病院を受診し、”気管支喘息におけるオマリズマブの有効性に関する包括的検討(C304)””気管支喘息および慢性咳嗽における気道過分泌の成因と臨床的意義に関する研究(C436)”（先行研究）に参加された喘息患者さん、及び 2011 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までに当科を初診された未治療の喘息患者さんを対象として、先行研究登録時または初診時の喀痰上清中のアクアポリン 3 の濃度と喘息の病態との関係について明らかにすることを目的としています。アクアポリンは水分子を特異的に通す膜蛋白質ですが、喘息におけるアトピー性 2 型炎症にも重要である可能性が示されており、新たな喘息治療薬の標的分子となる可能性が期待されています。

3. 研究期間は倫理委員会承認日から 5 年間です。

4. 本研究は京都大学大学院医学研究科･医学部及び医学部附属病院の医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。

5. 本研究機関の名称･研究責任者の氏名：京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座
松本久子

6. 情報の利用目的と方法：先行研究登録時の喀痰中のアクアポリン 3 濃度と喀痰･血液中の好酸球数や喘息治療濃度、呼吸機能などとの関係を解析します。これに関わる下記カルテ記載事項⑺をすべて匿名化した上で解析します。

7. 利用する情報の項目: 登録時と登録から 1 年後の吸入ステロイド薬の量や併用薬数、生物製剤の使用状況など、登録時呼吸機能、血液･喀痰の好酸球分画など

8. 共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名：川崎医科大学呼吸器内科　小賀徹

9. 本研究の情報の管理についての責任者:京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座
松本久子

10. データはすべて匿名化し、個人を特定できる情報の流出がないよう、細心の注意を払いますが、ご自身のデータ使用を希望されない方がおられましたら、ご連絡頂ければそのように対応いたします。しかし既に論文化されており対応できない場合もありますので、ご了承下さい。なおその場合におきましても患者さんが診療上不利益を被ることは一切ありません。

11. 利益相反について：利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査･管理し

ます。

12. 研究に関する資料の入手･閲覧は可能です。ただし他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲に限られます。ご希望の場合、またこの研究につき、御質問などがございましたら下記までご連絡ください。

13. 問い合わせ先：
1) 京都大学大学院医学研究科　呼吸器内科学講座　松本久子
2) 京都大学医学部附属病院　相談支援センター
1) 京都市左京区聖護院川原町 54 京都大学医学部付属病院呼吸器内科 Tel 075-751-3830
2) Tel 075-751-4748